

「沖大・緊急連続講演会」

— 経済特区、基地跡地利用、国際都市構想に向けて —

第4回 「アジア太平洋地域の安定化のための日・米協力関係」

講師 麗澤大学教授 ロナルド・モース氏

12月13日(金) 午後4時30分～午後6時 沖縄大学 (Ⅱ号館一階 視聴覚室)

主催：沖縄大学 (問い合わせ先 吉川研究室 854-2958)

聴講無料・直接会場へおでかけください

沖縄の米軍基地の撤退、撤去の可能性とその時期は、東アジア、中国の経済、社会、軍事状況をどう読み、その中で日・米両国の協力関係また沖縄の役割をどう評価するかにかかっています。米国きっての日本、中国の専門家のロナルド・モース教授を迎えて、沖縄基地に対する評価、また日米の軍事同盟から総合安全保障への転換の可能性を聞き、沖縄の声を国防総省に伝えてもらう機会にしよう企画しました。とくに、今後の中国の社会変動に関するシュミレーションにもとづくシナリオについて、紹介したいとのことです。

<講師紹介>1938年ニューヨーク生まれ。'64年カリフォルニア大学バークレー校卒、プリンストン大学大学院日本研究博士課程修了。'74年国防総省戦略貿易チーム主任研究員、'77年国務省上級日本研究員、'88年米国議会図書館長特別補佐官、メリーランド大学国際プロジェクト部長等を歴任し、'96年より麗澤大学教授。

柳田国男と民俗学をテーマに博士号を取得した。アジア太平洋地域の最大の不安定要因は「日本の立場」だと指摘、著書に「目をさませ、日米関係」、「近代化への挑戦」がある。

「沖大・緊急講演会」について

今、沖縄の経済の緊急課題は「経済特区・基地跡地利用・国際都市構想」その方向性を早急に見つけ出す必要があります。本連続講演会は、その基礎になる議論を提起しようと、今年度中に連続して4～5回、集中的に開催する予定です。

第1回 10月17日 「沖縄国際化へ向けての運輸・交通戦略」

大阪産業大学教授 今野修平氏

第2回 11月7日 「沖縄振興と情報通信—ゆうパックからマルチメディアまでの活用」

沖縄郵政管理事務所所長 稲村公望氏

第3回 11月29日 「都市計画とテーマパーク」

インタープラン企画設計代表 長谷川芳郎氏

第4回 12月13日 「アジア太平洋地域の安定化のための日・米協力関係」

麗澤大学教授 ロナルド・モース氏

第5回(予定) 12月21日 「航空行政・航空産業による沖縄振興」

帝京大学専任講師 戸崎肇氏